

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
国語	現代の国語	2	必修	6	2	1
教科書（発行所）		新編現代の国語（東京書籍）				

1. 学習の到達目標

- ・ 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- ・ 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 評価基準

【知識・技能】

- ・ 適切な表現や言葉遣い、主な常用漢字について理解し、語彙を豊かにして使用することができる。
- ・ 文章の効果的な組み立て方や接続の仕方、修辞について理解し、使用することができる。

【思考・判断・表現】

- ・ 内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。
- ・ 目的に応じて、情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈し、文章の構成や論理の展開などについて評価するとともに、自分の考えを深めている。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・ 主体的に知識・技能を身に付けたり、思考・判断・表現をしようとしていたりしている。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	①	2026 5/14～22	P6～17	生きる原点としての自己への理解を深めよう。
2期	②	2026 6/18～26	P24～30 P33～38	評論を読んで筆者の考えを読み取り、関心の幅を広げよう。
3期	③	2026 8/20～28	P68～92	新鮮な着眼や発想に触れて、視野を広げよう。
4期	④	2026 10/1～9	P100～124	働く人の思いを理解し、社会の中で生きる自分の将来について考えよう。
5期	⑤	2026 11/5～13	P152～176	多様な価値観に目を開き、周囲に広がる世界への理解を深めよう。
6期	⑥	2026 12/10～18	P184～201	既存の価値観を新たな観点から捉え直し、社会の未来を考えよう。

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
国語	言語文化	2	必修	6	2	1
教科書（発行所）		新編言語文化（東京書籍）				

1. 学習の到達目標

- ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 評価基準

- 【知識・技能】
- ・主な常用漢字について理解し、使用することができる。
 - ・言葉の文化的背景、表現技法とその効果について理解し、語彙を豊かにして使用することができる。
 - ・古典の世界に親しむために、作品の歴史的背景、文語や訓読の決まり、古典特有の表現について理解している。
- 【思考・判断・表現】
- ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。
 - ・作品の内容や解釈を踏まえ、我が国の言語文化について自分の考えを深めている。
- 【主体的に学習に取り組む態度】
- ・主体的に知識・技能を身に付けたり、思考・判断・表現をしようとしていたりしている。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	①	2026 5/14~22	P10~15 P18~22 P24~35	筆者のものの見方や感じ方を読み取ろう。表現に注意し、登場人物の心情を読み取ろう。
2期	②	2026 6/18~26	P54~65	詩や短歌、俳句に親しみ、深く読み味わう力を養おう。
3期	③	2026 8/20~28	P76~91 P98~107 P111~120	主題を読み取り、小説を深く味わおう。読書の幅を広げ、豊かな感性を養おう。
4期	④	2026 10/1~9	P146~158 P164~171	古文の表現から作者の考えを捉えよう。詩歌の内容を解釈し、表現技法を理解しよう。
5期	⑤	2026 11/5~13	P178~193 P198~203	物語の内容を的確に捉え、文章の展開や表現の特色に注目して作品を読み深めよう。
6期	⑥	2026 12/10~18	P218~233 P236~244	漢文の特色やきまりを理解し、漢文の世界に親しもう。情景や作者の心情を読み取ろう。

4. 評価方法

- レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
国語	論理国語	4	選択	12	4	2
教科書（発行所）		新編論理国語（東京書籍）				

1. 学習の到達目標

- ・ 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- ・ 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 評価基準

【知識・技能】

- ・ 論証や学術的な学習の基礎を学ぶために必要な語彙を豊かにして使用することができる。
- ・ 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。
- ・ 主張とその前提や反証、重要度や抽象度などによって情報を階層化し整理する方法について理解を深めている。

【思考・判断・表現】

- ・ 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。
- ・ 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・ 主体的に知識・技能を身に付けたり、思考・判断・表現をしようとしていたりしている。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	①②	2026 5/14～22	P8～22 P26～43	表現の特徴、文章の構成や内容を的確に捉え、論じられている事柄について考えよう。
2期	③④	2026 6/18～26	P56～72 P76～91	人間と知性について自分の考えを深めよう。表現に注意し、問題を的確に把握しよう。
3期	⑤⑥	2026 8/20～28	P102～121 P124～137	学問的な見地から、ものの見方を広げよう。働くことについて考えを深めよう。
4期	⑦⑧	2026 10/1～9	P168～183 P186～199	論理展開に注意し、問題を的確に捉えよう。表現に注意して筆者の考えを捉えよう。
5期	⑨⑩	2026 11/5～13	P210～227 P232～248	科学や哲学の見地から、人間について考えよう。論じられている物事への認識を深めよう。
6期	⑪⑫	2026 12/10～18	P262～279 P282～301	対比や、具体例と抽象的な説明に着目し、評論の内容を的確に読み取ろう。

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
国語	国語表現	4	選択	12	4	3
教科書（発行所）		国語表現（東京書籍）				

1. 学習の到達目標

- ・ 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- ・ 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 評価基準

【知識・技能】

- ・ 伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使用することができる。
- ・ 自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語彙を豊かにして使用することができる。
- ・ 実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めている。

【思考・判断・表現】

- ・ 目的や意図に応じて、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にすることができる。
- ・ 適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・ 主体的に知識・技能を身に付けたり、思考・判断・表現をしようとしたりしている。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	①②	2026 5/14～22	P16～33	情報を整理して伝達する基本を学び、分かりやすい説明の方法を身につけよう。
2期	③④	2026 6/18～26	P34～43 P46～53	演劇的活動を通して身体表現を意識しよう。問いに基づくインタビューについて学ぼう。
3期	⑤⑥	2026 8/20～28	P54～61 P66～79	質問力を身につけよう。自分の魅力をしっかりと伝える方法を身につけよう。
4期	⑦⑧	2026 10/1～9	P82～109	小論文を書く活動を通して、論理的なものの見方・考え方、表現力を身につけよう。
5期	⑨⑩	2026 11/5～13	P112～123 P140～153	ファシリテーションの技法を学ぼう。情報を活用・編集する力を身につけよう。
6期	⑪⑫	2026 12/10～18	P154～165 P168～183	相手を動かす、説得力のある表現を身につけよう。創作を通して、表現の幅を広げよう。

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
地歴	地理総合	2	必修	6	2	1
教科書（発行所）						

1. 学習の到達目標

- ・地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題などを理解する。
- ・地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- ・地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

2. 評価基準

【知識・技能】

地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解している。

【思考・判断・表現】

地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察することができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14~22	教科書 P7~P32	世界地図や地球儀での表現方法ならびに日本の位置や領域についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につける。
2期	1	2026 6/18~26	教科書 P33~P61	交通・通信技術の発展と国境をこえたさまざまな結び付きについて、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身につける。
3期	1	2026 8/20~28	教科書 P62~P85	世界にみられる多様な文化について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身につける。
4期	1	2026 10/1~10/9	教科書 P86~P131	さまざまな要因がからむ地球的な課題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につける。
5期	1	2026 11/5~11/13	教科書 P132~P172	さまざまな要因がからむ地球的な課題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
6期	1	2026 12/14~18	教科書 P173~P213	変化に富んだ日本列島の自然環境、大きな被害をもたらす自然災害について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身につける。

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
地歴	地理探究	3	選択	9	3	3
教科書（発行所）		東京書籍 地理探究 東京書籍				

1. 学習の到達目標

- ① 地球的な視野から地理的事象の空間的な規則性、傾向性や関連する課題の発生要因を捉える学習を通して、現代世界の諸事象の地理的認識を深めるとともに、系統地理的な考察方法を身に付けます。
- ② ①をふまえ、選択した地域の特性とそこで発生する諸課題について捉える学習を通して、現代世界の諸地域の地理的認識を深めるとともに、地誌的な考察方法を身に付けます。
- ③ ①、②をふまえ、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や持続可能な国土像の在り方を探究する学習を通して、現代世界における日本の現状と望ましい将来像についての認識を深めるとともに、主体的な学習活動である探究の手法を身に付けます。

2. 評価基準

知識・技能

○地図や地理情報システムなどの読み取りを通して、地球的な視野から地理的事象の空間的な規則性、傾向性や関連する課題の発生要因について理解することで、現代世界の諸事象の地理的認識を深めている。

思考・判断・表現

○地理的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。

○知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。

主体的に取り組む態度

○レポートを期限内に提出する。スクーリング時などに質問をしたり、地理的な課題を解決しようと取り組む。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14～22	教科書 P5～P59	生活環境の基盤となる地形の重要性、気候について理解を深める。
2期	2	2026 6/18～26	教科書 P60～P141	暮らしを支えるエネルギー・資源の重要性、農林水産業について、理解を深める。
3期	1	2026 8/20～28	教科書 P142～P163	交通、通信、貿易、観光・人口分布や人口移動の変遷について理解を深める。
4期	2	2026 10/1～10/9	教科書 P164～P215	人口問題・生活文化・民族・宗教について理解を深める。
5期	1	2026 11/5～11/13	教科書 P216～P243	東アジア・東南アジア・南アジアの地誌について理解を深める
6期	2	2026 12/14～18	教科書 P244～P313	西アジア・中央アジア・アフリカ・ヨーロッパ・アングロアメリカ・ラテンアメリカ・オセアニアの地誌について理解を深める

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
地歴	歴史総合	2	必修	6	2	2
教科書（発行所）		新選 歴史総合（東京書籍）				

1. 学習の到達目標

- ・客観的かつ公正な資料により適切な歴史認識を育成する。
- ・世界史的な視野に立ちながら、日本の歴史を国際環境と関係づけながら考察する。
- ・国際社会に生きる人間としての自覚と資質を養う。

2. 評価基準

【知識・技能】

- ・日本及び世界の歴史の展開に関して理解し、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
- ・教科書の太字（ゴシック体）を正確に覚える。
- ・各国での事象を、時系列に把握し相互の関連を理解できる。

【思考・判断・表現】

- ・歴史的な課題について、成り立ちや変容、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現力を養う。
- ・事象の背景やその後の影響について、理解を深め説明することができる。
- ・諸地域の経済や文化等のつながりについて、資料を読み解き説明することができる。

【主体的に取り組む態度】

- ・レポートを期日内に提出する。スクーリング時などに質問をしたり、地理的な課題を解決しようと取り組む。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14～22	教科書 P5～47	18世紀から19世紀に、諸地域やそれらの国際関係はどのように変化したかを理解する。
2期	1	2026 6/18～26	教科書 P48～81	近代の政治や国家、国際関係の仕組みはどのような形で広がったかを理解する。
3期	1	2026 8/20～28	教科書 P83～107	第一次世界大戦は、人々の生活や社会、国際秩序にどのような影響を与えたかを考察する。
4期	1	2026 10/1～10/9	教科書 P108～137	人類はなぜ第二次世界大戦へ向かっていったのかを考察し、理解する。
5期	1	2026 11/5～11/13	教科書 P138～165	資本主義陣営と社会主義陣営の対立はどのようにして起きたのかを理解する。
6期	1	2026 12/14～18	教科書 P166～193	グローバル化が進むなか、諸課題に直面した世界は、どのような解決を目指したのかを理解する。

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
地歴	日本史探究	3	選択	9	3	3
教科書（発行所）		日本史探究（東京書籍）				

1. 学習の到達目標

- ・日本列島に生きた人々の歴史を、先史・古代から、私たちが生きる現在までを対象に学び、過去の歴史を探究して、深く学んでいく視点を身につける。
- ・教科書の「資料（史料）」を読んで理解するとともに、資料がつくられた時代は、どのような時代だったのか自分なりに仮説をたて、他の事実との矛盾はないか、検証して自分なりの答えを見つける。

2. 評価基準

【知識・技能】

- ・教科書に記載されている重要語句（歴史用語・人名・出来事・法律・文化作品を含む）を理解する。
- ・各時代および文化のそれぞれの特徴を理解し、その後どのような影響を与えたかを考察する。

【思考・判断・表現】

- ・当時の政治、経済、文化がそれぞれ形成され発展した要因や背景について、理解を深める。
- ・18世紀以前と以降では、世界情勢が大きく変化した。日本の諸外国とのつながりや国際的立場を考察する。

【主体性および歴史理解】

- ・レポートは必ず提出期限を厳守して、すべての問題に回答をする。
- ・当時の資料を読み解き、その時代背景を認識し、自分なりの仮説を立て、その実証を試みる。

3. 年間計画 【予定】

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14～22	先史・古代の日本と東アジア 教科書 P8～64	人類が日本列島で生活を営み始めてた時代からの歩みを理解する。
2期	2	2026 6/18～26	中世の日本と世界Ⅰ 教科書 P66～94	朝廷政治の成立から変容、つぎの武家政権の誕生までの流れを理解する。
3期	1	2026 8/20～28	中世の日本と世界Ⅱ 教科書 P97～122	全国に展開するようになった御家人と武家支配の広がりや国際交流について理解する。
4期	2	2026 10/1～10/9	近世の日本と世界Ⅰ 教科書 P124～186	織豊政権による全国統一から幕藩体制と鎖国、幕藩体制の動揺の流れを理解する。
5期	1	2026 11/5～11/13	近現代の地域・日本と世界Ⅰ 教科書 P188～269	開国と開港、明治政府の成立から両大戦期までの日本と世界のつながりを理解する。
6期	2	2026 12/14～18	近現代の日本と世界Ⅱ 教科書 P270～312	第二次世界大戦後の占領政策から高度経済成長、そして現代の課題を考察する。

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
地歴	世界史探究	3	選択	9	3	3
教科書（発行所）		世界史探究（東京書籍）				

1. 学習の到達目標

- ・世界の歴史の大きな枠組と展開に関わる事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解を高める。
- ・各国相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目し、多面的・多角的に世界の歴史を考察する。
- ・日本の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さを学ぶ。

2. 評価基準

【知識・技能】

- ・教科書の太字（ゴシック体）を正確に覚える。
- ・各国での事象を、時系列に把握し相互の関連を理解できる。

【思考・判断・表現】

- ・事象の背景やその後の影響について、理解を深め説明することができる。
- ・諸地域の経済や文化等のつながりについて、資料を読み解き説明することができる。

【主体的に取り組む態度】

- ・レポートを期日内に提出する。スクーリング時などに質問をしたり、地理的な課題を解決しようと取り組む。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14～22	教科書 P11～P64	人類の誕生と、古代文明の出現について理解を深める。
2期	2	2026 6/18～26	教科書 P65～P99 教科書 P100～P159	諸地域の国家形成について理解を深める。
3期	1	2026 8/20～28	教科書 P160～P185	諸地域の交流や国家の再編について理解を深める。
4期	2	2026 10/1～10/9	教科書 P186～P224 教科書 P225～P258	近代化が進む諸地域の発展と世界の一体化について理解を深める。
5期	1	2026 11/5～11/13	教科書 P259～P297	帝国主義による世界分割とその影響について理解を深める。
6期	2	2026 12/14～18	教科書 P298～P336 教科書 P337～P389	第二次世界大戦の背景とその後のグローバル化について理解を深める。

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
公民	公共	2	必修	6	2	2
教科書（発行所）		東京書籍				

1. 学習の到達目標

- ・現代の諸課題を考察し、社会の一員として活動するために必要な情報を調べまとめる力を身に着ける。
- ・現代の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や社会の基本的原理を活用する力を養う。
- ・現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、他社との協力が大切であることの自覚を養う。

2. 評価基準

【知識・技能】

現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解している。

【思考・判断・表現】

事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、社会の一員となることを念頭に構想したことを議論したり表現したりしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた取り組みを行おうとしている。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14~22	教科書 P8~P55	公共的な空間をつくる私たち、公共的な人間としてのあり方生き方を理解する
2期	1	2026 6/18~26	教科書 P56~P85	民主的な社会、民主政治について理解する。
3期	1	2026 8/20~28	教科書 P86~P115	法の働きと私たちのかかわりについて理解する。
4期	1	2026 10/1~10/9	教科書 P116~P151	経済社会とそこで生きる私たちの生活についてりかいする。
5期	1	2026 11/5~11/13	教科書 P152~P179	職業生活、国際社会について理解する。
6期	1	2026 12/14~18	教科書 P180~P219	国際社会、持続可能な社会づくりについて理解する。

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
公民	倫理	2	選択	6	2	3
教科書（発行所）						

1. 学習の到達目標

- ・古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための概念や理論について理解する。
- ・他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する知識などを活用して論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。
- ・現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。

2. 評価基準

【知識・技能】

他者と共によりよく生きる人間のあり方について自己の確立の課題として考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解している。

【思考・判断・表現】

人間の存在や価値、現代の倫理的課題などについて多面的・多角的に考察し、思索を深めている。

【主体的に学習に取り組む態度】

知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けて粘り強い取り組みを行おうとしている。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14~22	教科書 P8~P42	人間の心のあり方・さまざまな人生観・倫理観・世界観について理解する。
2期	1	2026 6/18~26	教科書 P43~P81	宗教と社会 キリスト教 イスラーム 仏教 中国の思想 芸術について理解する。
3期	1	2026 8/20~28	教科書 P82~P120	近代と人間尊重の精神 近代思想の展開 人格の尊厳と人倫の思想 社会変革の思想 理性への疑念について理解する。
4期	1	2026 10/1~10/9	教科書 121~P156	人間観・言語観の問いなおし 他者・自然とのかかわり 日本人の精神風土について理解する。
5期	1	2026 11/5~11/13	教科書 P157~P198	仏教と日本人の思想形成 儒教と日本人の思想形成 国学の思想 庶民の思想 西洋思想と日本人の近代化について理解する。
6期	1	2026 12/14~18	教科書 199~P235	国際社会に生きる日本人の自覚 現代の諸課題と倫理について理解する。

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
公民	政治・経済	2	選択	6	2	3
教科書（発行所）						

1. 学習の到達目標

- ・現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解する。
- ・国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や、政治・経済に関する概念や理論などを理解する。
- ・よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

2. 評価基準

【知識・技能】

社会的事象等について（～は～であると）理解し、その知識を身に付けている。

【思考・判断・表現】

社会的な見方・考え方をを用いて、社会的事象等を見出し、社会的事象等の意味や意義、特色を考察している。

【主体的に学習に取り組む態度】

よりよい社会を考え学んだことを生かそうとしている。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14～22	教科書 P4～P47	民主政治の基本原則・日本国憲法の基本原則について理解する。
2期	1	2026 6/18～26	教科書 P48～P79	日本の政治機構・現代政治の特質と課題について理解する。
3期	1	2026 8/20～28	教科書 P80～P118	現代の資本主義経済・現代経済のしくみについて理解する。
4期	1	2026 10/1～10/9	教科書 P119～P155	日本経済の発展と現状・福祉社会と日本経済の課題について理解する。
5期	1	2026 11/5～11/13	教科書 P156～P203	現代日本の諸課題・グローバル化する国際社会・現代の国際政治について理解する。
6期	1	2026 12/14～18	教科書 P204～P254	現代の国際経済・国際社会の諸課題について理解する。

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
数学	数学Ⅰ	3	必修	9	3	1
教科書（発行所）		改訂版 新数学Ⅰ NEW MATHEMATICS （東京書籍）				

1. 学習の到達目標

- ・数や式についての計算能力を養い、集合と命題の考え方を身につけ、活用できるようにする。
- ・2次関数のグラフを習熟し、関数の考え方を活用して、方程式や不等式の解の意味につなげられるようにする。
- ・三角比の考え方を理解し、活用できる能力を身につける。また、資料の整理について習熟する。

2. 評価基準

- ・数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。
- ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
- ・数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し総合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。
- ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。
- ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14～22	・数の計算、数と式（～P.41、46）	・基本的な四則演算および文字の計算
2期	2	2026 6/18～26	・数と式（P.60～72） ・数と式（P.42～59）	・因数分解や $\sqrt{\quad}$ 、1次方程式の修得 ・不等式、2次方程式の解法
3期	1	2026 8/20～28	・2次関数（P.73～91）	・2次関数の頂点および平行移動の考え方
4期	2	2026 10/1～9	・2次関数（P.92～102） ・三角比（P.104～113）	・2次関数の最大値・最小値。2次不等式 ・三角比の基本について
5期	1	2026 11/5～13	・三角比②（P.114～127）	・三角比の相互関係、正弦定理、余弦定理
6期	2	2026 12/10～18	・データの分析（P.130～148） ・集合と論証（P.150～157）	・代表値、四分位数、箱ひげ図など ・集合の考え方、必要条件と十分条件など

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
数学	数学Ⅱ	4	選択	12	4	2
教科書（発行所）		新数学Ⅱ NEW MATHEMATICS （東京書籍）				

1. 学習の到達目標

- ・式と証明、複素数と方程式分野ではⅠAから発展した内容での基本事項を身につける。また数の概念を拡張する。
- ・指数関数、対数関数においては指数計算からの発展で関数を理解し、指数対数の関係性を身につける。
- ・微分方と積分法では、極限という概念を理解し関数の性質を捉える。また、積分の考えから面積・体積を捉える。

2. 評価基準

- ・数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。
- ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
- ・数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し総合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。
- ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。
- ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	2	2026 5/14～22	式の計算・2次方程式 教科書P4～P19	3乗公式を理解し、計算する。 2次方程式を虚数の範囲まで求める。
2期	2	2026 6/18～26	高次方程式・直線方程式 教科書P20～P51	3次方程式を求める。 直線方程式を理解し、求める。
3期	2	2026 8/20～28	円の方程式・三角関数 教科書P52～P77	円の方程式を理解し、求める。 負の角などについて三角関数の値を求める。
4期	2	2026 10/1～9	加法定理・指数関数 教科書P78～P95	加法定理を用いて三角関数の値を求める。 指数法則を理解し、計算する。
5期	2	2026 11/5～13	対数関数・微分係数 教科書P96～P115	対数の定義を理解し、計算する。 微分を理解し、微分係数を計算する。
6期	2	2026 12/10～18	増減表・積分 教科書P116～P129	増減表を書き、極値を求める。 積分を理解し、定積分等計算する。

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名(校内)	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
数学	数学 A	2	必修	6	2	1
教科書(発行所)		新数学 A NEW MATHEMATICS (東京書籍)				

1. 学習の到達目標

- ・様々な事象についての場合の数、および確率の考え方、活用の仕方を学び、身につける。
- ・三角形の外心、内心、重心や内接円、外接円と言った基本的な図形概念と法則を身につける。
- ・約数や倍数、公約数や公倍数などの求め方を学び、身につける。

2. 評価基準

- ・数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。
- ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
- ・数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し総合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。
- ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。
- ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/18～22	集合の要素の個数・場合の数 教科書 P4～P21	集合の記号を理解し、数を求める。 順列・組み合わせを理解し、計算する。
2期	1	2026 6/18～26	確率・排反事象・余事象 教科書 P22～P29	確率の基本的求め方を理解する。排反事象・余事象の性質を利用し、確率を求める。
3期	1	2026 8/20～28	独立・反復試行・条件付確率 教科書 P30～P35	独立な試行と反復試行の区別をする。 条件つき確率の求め方を理解し、計算する。
4期	1	2026 10/1～9	三角形の性質・角の二等分線 教科書 P50～P57	三角形の重心・内心・外心を理解する。 角の二等分線の性質を利用し、値を求める。
5期	1	2026 11/5～13	円の性質・多面体 教科書 P58～P75	円周角などの円の性質を利用し、値を求める。 多面体を理解する。
6期	1	2026 12/10～18	2進法・公倍数、公約数 教科書 P82・83・86～89	2進法を理解し、和積の計算を行う。 倍数・約数の値を求める。

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名(校内)	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
数学	数学 B	2	選択	6	2	3
教科書(発行所)		数学 B Essence (東京書籍)				

1. 学習の到達目標

- ・ベクトル及び数列について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。
- ・事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにする。

2. 評価基準

- ・数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。
- ・事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
- ・数学を活用して事象を論理的に考察する力, 事象の本質や他の事象との関係を認識し総合的・発展的に考察する力, 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。
- ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり, 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。
- ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善しようとしたりしている。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/18～22	等差数列・等比数列の一般項と和 教科書 P10～P23	等差数列・等比数列の違いを理解し、それぞれ一般項と和を求める。
2期	1	2026 6/18～26	Σ 計算・階差数列・漸化式 教科書 P24～P38	Σ 公式を用いて計算する。 階差数列の性質を理解し、一般項を求める。
3期	1	2026 8/20～28	漸化式と一般項 教科書 P39～P40	漸化式の意味を理解し一般項を表す。また、一般項を計算する。
4期	1	2026 10/1～9	確率変数の平均・分散・標準偏差 教科書 P54～P61	平均・分散・標準偏差を理解し、それぞれの値を求める
5期	1	2026 11/5～13	二項分布・標準正規分布 教科書 P62～P70	二項分布の意味を理解する。 標準正規分布表を用いて確率を求める。
6期	1	2026 12/10～18	一般の正規分布 教科書 P71～P72	一般の正規分布から標準正規分布へ確率を変え、指定された範囲の確率を求める。

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
理科	科学と人間生活	2	必修	6	8	1
教科書（発行所）		改訂 科学と人間生活（東京書籍）				

1. 学習の到達目標

- ・日常生活や社会との関連を図りながら、科学に関連する内容を理解する。
- ・科学的に探究するために必要な基本的な考え方や技能を身につける。
- ・自然科学への興味付け、総合的なものの見方を養い、応用力をつけ小論文などに対応できる知識を身につける。

2. 評価基準

【知識・理解・技能】

- ・各単元の用語の意味を調べ、理解できているか。
- ・様々な事象のしくみを理解できているか。

【思考・判断・表現】

- ・「並び替え問題」「記述問題」等により評価します。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14~22	1 編 1 章微生物とその利用 P14~37	・微生物の存在とそのはたらきおよびヒトとの生活でのかかわりについて理解する
2期	1	2026 6/18~26	1 編 2 章ヒトの生命現象 P38~63	血糖濃度の調節や免疫機能など様々な生命現象のしくみについて理解する
3期	1	2026 8/20~28	2 編 1 章衣料と食品 P64~85	さまざまな繊維とその性質や用途、食品中の主な成分や性質について理解する
4期	1	2026 10/1~9	2 編 2 章材料とその再利用 P86~113	様々な金属やプラスチックの用途、資源の再利用について理解する
5期	1	2026 11/5~13	3 編 光や熱の科学 P114~155	光や熱の性質や人間生活でどのように利用されているかを理解する
6期	1	2026 12/10~18	4 編 宇宙や地球の科学 P156~203	天体の運動やエネルギー、自然景観の成り立ちや自然災害の対策について理解する

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
理科	化学基礎	2	選択	6	8	3
教科書（発行所）		改訂 新編 化学基礎 （東京書籍）				

1. 学習の到達目標

- ・日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ・物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う

2. 評価基準

【知識・理解・技能】

- ・各単元の用語の意味を調べ、理解できているか。
- ・様々な事象のしくみを理解できているか。

【思考・判断・表現】

- ・「並び替え問題」「記述問題」により評価します。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14~22	1篇 2章 物質の成分と構成元素 p24~39	物質の性質と分離方法について理解する。
2期	1	2026 6/18~26	2編 1章 原子の構造と元素の周期表 p 46~53	原子の大きさや構造を理解し、その構成粒子の違いにより同位体が存在することを理解する。
3期	1	2026 8/20~28	2編 2章 化学結合 p58~85	身のまわりの物質は、原子やイオンがどのように結びつきでできているかを考え、結合の種類から物質の大まかな性質について分類し考察する。
4期	1	2026 10/1~10/9	3編 1章 物質と化学反応式 P96~117	原子量・分子量・式量の仕組みを理解し、計算できるようになる。化学変化を化学反応式やイオン反応式で表すことを学び、それをもとにして量的関係を考える。
5期	1	2026 11/5~13	3篇 2章 酸と塩基 p 124~147	酸・塩基の定義や酸性・塩基性についてその本質が何であるかを考え、酸性・塩基性の強弱を学ぶ。
6期	1	2026 12/14~18	3編 3章 酸化還元反応 p 154~175	電子の授受によって酸化・還元を学ぶ。 酸化数という便利な指標を用いて、酸化・還元を統一的に考える。

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
理科	生物基礎	2	必修	6	8	2
教科書（発行所）		新編 生物基礎（東京書籍）				

1. 学習の到達目標

- ・日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高める。
- ・目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てる。
- ・生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

2. 評価基準

【知識・理解・技能】

- ・各単元の用語の意味を調べ、理解できているか。
- ・様々な事象のしくみを理解できているか。

【思考・判断・表現】

- ・「並び替え問題」「記述問題」により評価します。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14~22	1編 生物の特徴 P8~43	生物の多様性や共通性、生命活動に関するエネルギーについて理解する。
2期	1	2026 6/18~26	2編 遺伝子とそのはたらき P44~77	遺伝情報の本体である DNA、その情報からタンパク質が合成されることを理解する。
3期	1	2026 8/20~28	3編 ヒトの体の調節 1章 P78~105	ヒトの体を調節するしくみ（神経系・内分泌系、血糖濃度の調節）について理解する。
4期	1	2026 10/1~10/9	3編 ヒトの体の調節 2章 P106~125	免疫について、そのしくみや免疫の応用、さまざまな疾患について理解する。
5期	1	2026 11/5~13	4編 生物の多様性と生態系 1章 P126~149	身のまわりの植生や遷移、バイオームについて理解する。
6期	1	2026 12/10~18	4編 生物の多様性と生態系 2章 P150~173	生態系における生物の多様性や生物間の関係、生態系の保全について理解する。

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
体育	体育(3単位)	3	必修	3	15	1
教科書（発行所）						

1. 学習の到達目標

- ・基礎体力の向上を目指す
- ・授業を通して自主性・社会性を身につける
- ・明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

2. 評価基準

- ・運動を継続する意義、体力の構成要素、体の構造を理解しているか。（知識・技能）
- ・積極的に運動しているか。協力しているか。（知識・技能）
- ・課題を見つけだしているか。課題解決を目指し、運動の仕方、楽しみ方を工夫しているか。（思考・判断・表現）
- ・授業開始前の準備・態度（主体的に学習に取り組む態度）
- ・技能を高めているか（主体的に学習に取り組む態度）

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14~22	教科書P136-P143 スポーツの変遷とスポーツ文化	スポーツの成り立ちを理解することで、運動を継続する意義を深める。
2期	1	2026 6/18~26	教科書P158-163 スポーツにおける技能と体力・技術と戦術	体力の構成を知り、健康的な体力を養う。練習とトレーニングにおいて向上を目指す。
3期	なし	2026 8/20~28	教科書P158-163 スポーツにおける技能と体力・技術と戦術	体力の構成を知り、健康的な体力を養う。練習とトレーニングにおいて向上を目指す。
4期	1	2026 10/1~10/9	教科書P166-167 球技における戦術の特徴	球技特徴を知ること、戦術・戦略の幅を広げる。実践を通して体験する。
5期	なし	2026 11/5~13		
6期	なし	2026 12/10~18		

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
体育	体育(2単位)	2・2	必修	2年次2 3年次2	2年次10 3年次10	2年・3年
教科書（発行所）						

1. 学習の到達目標

- ・基礎体力の向上を目指す
- ・授業を通して自主性・社会性を身につける
- ・明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

2. 評価基準

- ・運動を継続する意義、体力の構成要素、体の構造を理解しているか。（知識・技能）
- ・積極的に運動しているか。協力しているか。（知識・技能）
- ・課題を見つけだしているか。課題解決を目指し、運動の仕方、楽しみ方を工夫しているか。（思考・判断・表現）
- ・授業開始前の準備・態度（主体的に学習に取り組む態度）
- ・技能を高めているか（主体的に学習に取り組む態度）

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14~22	教科書P136-P143 スポーツの始まりと変遷とスポーツ文化	スポーツの成り立ちを理解することで、運動を継続する意義を深める。
2期	なし	2026 6/18~26		
3期	なし	2026 8/20~28		
4期	1	2026 10/1~10/9	教科書P158-163 スポーツにおける技能と体力・技術と戦力	体力の構成を知り、健康的な体力を養う。練習とトレーニングにおいて向上を目指す。
5期	なし	2026 11/5~13		
6期	なし	2026 12/10~18		

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
体育	体育(2単位)	2・2	必修	2年次2 3年次2	2年次10 3年次10	2年・3年
教科書（発行所）						

1. 学習の到達目標

- ・基礎体力の向上を目指す
- ・授業を通して自主性・社会性を身につける
- ・明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

2. 評価基準

- ・運動を継続する意義、体力の構成要素、体の構造を理解しているか。（知識・技能）
- ・積極的に運動しているか。協力しているか。（知識・技能）
- ・課題を見つけだしているか。課題解決を目指し、運動の仕方、楽しみ方を工夫しているか。（思考・判断・表現）
- ・授業開始前の準備・態度（主体的に学習に取り組む態度）
- ・技能を高めているか（主体的に学習に取り組む態度）

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14~22	教科書P136-P143 スポーツの始まりと変遷とスポーツ文化	スポーツの成り立ちを理解することで、運動を継続する意義を深める。
2期	なし	2026 6/18~26		
3期	なし	2026 8/20~28		
4期	1	2026 10/1~10/9	教科書P158-163 スポーツにおける技能と体力・技術と戦力	体力の構成を知り、健康的な体力を養う。練習とトレーニングにおいて向上を目指す。
5期	なし	2026 11/5~13		
6期	なし	2026 12/10~18		

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
体育	体育(4単位)	4	必修	4	20	
教科書（発行所）						

1. 学習の到達目標

- ・基礎体力の向上を目指す
- ・授業を通して自主性・社会性を身につける
- ・明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

2. 評価基準

- ・運動を継続する意義、体力の構成要素、体の構造を理解しているか。（知識・技能）
- ・積極的に運動しているか。協力しているか。（知識・技能）
- ・課題を見つけだしているか。課題解決を目指し、運動の仕方、楽しみ方を工夫しているか。（思考・判断・表現）
- ・授業開始前の準備・態度（主体的に学習に取り組む態度）
- ・技能を高めているか（主体的に学習に取り組む態度）

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14~22	教科書P136-P143 スポーツの変遷とスポーツ文化	スポーツの成り立ちを理解することで、運動を継続する意義を深める。
2期	1	2026 6/18~26	教科書P158-163 スポーツにおける技能と体力・技術と戦術	体力の構成を知り、健康的な体力を養う。練習とトレーニングにおいて向上を目指す。
3期	なし	2026 8/20~28		
4期	1	2026 10/1~10/9	教科書P166-167 球技における戦術の特徴	球技特徴を知ること、戦術・戦略の幅を広げる。実践を通して体験する。
5期	1	2026 11/5~13		
6期	なし	2026 12/10~18		

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
体育	体育(2単位)	1	必修	1	5	2年・3年
教科書（発行所）						

1. 学習の到達目標

- ・基礎体力の向上を目指す
- ・授業を通して自主性・社会性を身につける
- ・明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

2. 評価基準

- ・運動を継続する意義、体力の構成要素、体の構造を理解しているか。（知識・技能）
- ・積極的に運動しているか。協力しているか。（知識・技能）
- ・課題を見つけだしているか。課題解決を目指し、運動の仕方、楽しみ方を工夫しているか。（思考・判断・表現）
- ・授業開始前の準備・態度（主体的に学習に取り組む態度）
- ・技能を高めているか（主体的に学習に取り組む態度）

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14~22	教科書P136-P143 スポーツの始まりと変遷とスポーツ文化	スポーツの成り立ちを理解することで、運動を継続する意義を深める。
2期	なし	2026 6/18~26		
3期	なし	2026 8/20~28		
4期	なし	2026 10/1~10/9		
5期	なし	2026 11/5~13		
6期	なし	2026 12/10~18		

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
体育	保健	2	必修	6	2	3
教科書（発行所）						

1. 学習の到達目標

- ・生徒自らが健康課題に気づき、その改善の為に適切な行動選択を行い、健康的なライフスタイルを身につける。
- ・年齢とともに会うさまざまな健康問題や健康を支える社会の仕組みとその活用の仕方を身につける。
- ・健康的な社会生活を営む上で身の回りの環境、社会問題、健康との関係を学び、私たちができることを考える。

2. 評価基準

- ・生涯にわたり健康で安全な生活を送ることができるように、健康や安全課題の知識を身につける。（知識・技能）
- ・学習活動を通して総合的に考え、判断し、実践していけるようにする。（思考・判断・表現）
- ・課題を見つけ、自分の意見や考えを持つことができる。（思考・判断・表現）
- ・意欲的な授業姿勢をとっているか。学習内容を人生や社会の在り方と結び付けて深く理解し、これからの時代に求められる資質・能力を身につける。（主体的に学習に取り組む態度）

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14～22	教科書 P12-P15 がんの原因と予防、治療と回復	生涯にわたる健康で安全な生活を送るための健康課題を理解する。
2期	1	2026 6/18～26	教科書 P18-P25 運動・食事・休養・睡眠	生活習慣病への知識を身につけ、より良い行動選択ができるようにする。
3期	1	2026 8/20～28	教科書 P42-P47 感染症と性感染症について	感染症について理解を深め、今日における課題解決につとめる。
4期	1	2026 10/1～10/9	教科書 P34-P41 精神疾患の特徴と予防・回復	精神的ストレスは大きな社会問題にもなっていることを理解し、対処方法を知る。
5期	1	2026 11/5～13	教科書 P76-P83 思春期と健康・性意識・性行動・妊娠・出産・避妊法人工妊娠中絶	思春期における、性への理解を深めていく。ライフステージに応じた行動選択ができる。
6期	1	2026 12/10～18	教科書 P98-P107 環境問題（水質・土壌・大気）	環境問題と健康について関係性を理解する。健康への影響を考えた行動選択ができるようにする。

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
芸術	美術Ⅰ	2	選択	6	8	3年次
教科書（発行所）		日本文教出版 「高校美術」				

1. 学習の到達目標

- 対象や事象を捉える造形的な視点に理解を深め、意図に応じて創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。 - 造形的な良さや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働き等について考え、主題を作成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める。 - 主体的に美術の諸活動に取り組み、美術を愛好する心情を育み、感性を高め、心豊かな社会を創造する態度を養う。
--

2. 評価基準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	造形の基本となるデッサン力を身に付けるようにする。	作品に対する思考や責任感。個性豊かな表現力を発揮できる。	授業中の主体性を持った制作態度と、個々の作品を認め合う柔軟でおおらかな視点を持っている。
評価方法	作品、下書き（習作） 5：80%以上完成、非常に満足できる 4：70%以上完成、十分満足できる 3：50%以上完成、概ね満足できる 2：30%以上完成、努力を要する 1：未実施、未提出。	作品、下書き（習作） 5：80%以上完成、非常に満足できる 4：70%以上完成、十分満足できる 3：50%以上完成、概ね満足できる 2：30%以上完成、努力を要する 1：未実施、未提出。	作品、下書き（習作）、感想 5：80%以上完成、非常に満足できる 4：70%以上完成、十分満足できる 3：50%以上完成、概ね満足できる 2：30%以上完成、努力を要する 1：未実施、未提出。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
			美術の授業では作品・下書き（習作）を提出	
1期	1	2026 5/14～22	静物デッサン（絵の基礎基本） 人物クロッキー	観察力を駆使してふだん見慣れている静物（モチーフ）を正確に描く。人物の形の特徴をとらえて短時間で描く。
2期	1	2026 6/18～26	針金造形 コラージュ	針金の特性を生かして立体物を作る。画像や新聞の切り抜きを貼って表現する。
3期	1	2026 8/20～28	木製ボックスをデコろう （アクリル絵具、ポスカで彩色）	画材の特性を生かし、木箱にバランスよくデザインする。色彩の組み合わせとバランスを考える
4期	1	2026 10/1～9	ミニ油彩画を描く	油彩画の材料にふれ、技法を学ぶ。
5期	1	2026 11/4～12	クリスマスカード （クリスマスを表現しよう）	聖書の一場面を選んで制作する。静かな気持ちでクリスマスを祝う心をデザインする。
6期	1	2026 12/10～18	空想の動物を紙粘土で作ろう	AIの効果的な使い方を学ぶ。自分で調整して立体物を制作する。

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。
--

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
芸術	美術Ⅰ	2	選択	6	8	3年次
教科書（発行所）		日本文教出版 「高校美術」				

1. 学習の到達目標

- 対象や事象を捉える造形的な視点に理解を深め、意図に応じて創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。 - 造形的な良さや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働き等について考え、主題を作成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める。 - 主体的に美術の諸活動に取り組み、美術を愛好する心情を育み、感性を高め、心豊かな社会を創造する態度を養う。
--

2. 評価基準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	造形の基本となるデッサン力を身に付けるようにする。	作品に対する思考や責任感。個性豊かな表現力を発揮できる。	授業中の主体性を持った制作態度と、個々の作品を認め合う柔軟でおおらかな視点を持っている。
評価方法	作品、下書き（習作） 5：80%以上完成、非常に満足できる 4：70%以上完成、十分満足できる 3：50%以上完成、概ね満足できる 2：30%以上完成、努力を要する 1：未実施、未提出。	作品、下書き（習作） 5：80%以上完成、非常に満足できる 4：70%以上完成、十分満足できる 3：50%以上完成、概ね満足できる 2：30%以上完成、努力を要する 1：未実施、未提出。	作品、下書き（習作）、感想 5：80%以上完成、非常に満足できる 4：70%以上完成、十分満足できる 3：50%以上完成、概ね満足できる 2：30%以上完成、努力を要する 1：未実施、未提出。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
			美術の授業では作品・下書き（習作）を提出	
1期	1	2026 5/14～22	静物デッサン（絵の基礎基本） 人物クロッキー	観察力を駆使してふだん見慣れている静物（モチーフ）を正確に描く。人物の形の特徴をとらえて短時間で描く。
2期	1	2026 6/18～26	針金造形 コラージュ	針金の特性を生かして立体物を作る。画像や新聞の切り抜きを貼って表現する。
3期	1	2026 8/20～28	木製ボックスをデコろう （アクリル絵具、ボス力で彩色）	画材の特性を生かし、木箱にバランスよくデザインする。色彩の組み合わせとバランスを考える
4期	1	2026 10/1～9	ミニ油彩画を描く	油彩画の材料にふれ、技法を学ぶ。
5期	1	2026 11/4～12	クリスマスカード （クリスマスを表現しよう）	聖書の一場面を選んで制作する。静かな気持ちでクリスマスを祝う心をデザインする。
6期	1	2026 12/10～18	空想の動物を紙粘土で作ろう	AIの効果的な使い方を学ぶ。自分で調整して立体物を制作する。

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。
--

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
芸術	書道Ⅰ	2	必修	6	8	2年次
教科書（発行所）		東京書籍 「書道Ⅰ」				

1. 学習の到達目標

- ・書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
- ・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。
- ・主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2. 評価基準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	漢字の書、仮名の書における表現について、知識や技能を生かして基本的な用筆・運筆・字形・全体の構成を身に付けるようにする。	漢字、仮名、漢字仮名交じりの書の表現及び鑑賞において、芸術科書道の作品について根拠をもって鑑賞したり、文字や書と生活や社会との関わりを理解し、発表できるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができる。
評 価 方 法	作品（臨書） 書道展受賞結果 （出品すれば必ずなんらかの賞を受賞します）	作品（創作作品）	用具の手入れ、取り扱い状況 書道展鑑賞レポート

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	3～4	2026 5/14～22	楷書の基本点画 楷書の臨書作品	基本的な筆の持ち方、姿勢、運筆法、墨量の適量を知り、筆の弾力を生かして書くことができる。点画の省略、連続ができる。
2期	3～4	2026 6/18～26	隷書、木簡、篆書の基本点画 隷書、木簡、篆書の臨書作品	基本的な筆遣いをふまえた上で、書体の特徴を適切に表現できる。
3期	3～4	2026 8/20～28	全道学校書道展にむけた 作品制作（半紙サイズ）	半紙2～4字の作品制作について学び、適切な文字の大きさ、墨量で制作できる。
4期	3～4	2026 10/1～9	北海道学生書道展にむけた 作品制作（半切二分の一サイズ）	半切二分の一サイズの作品制作について学び、適切な文字の大きさ、墨量で制作できる。
5期	3～4	2026 11/5～13	和紙のクリアファイルづくり	今まで学んだ書体、筆法を活用しながらオリジナルクリアファイルを作る
6期	3～4	2026 12/10～18	白い創作カレンダーで 来年の目標を書こう	好きな歌の歌詞やことわざ、熟語などを用いて来年の目標をカレンダーに書く。

※書道の授業では1時間に1作品ずつ作品制作をします。全部出席すると1～6期で18～24作品になります。
最少レポート通数が6なので、18～24作品のうち、6作品以上提出し、合格点に達していれば単位修得できます。
※提出作品が多ければ多いほど、評価が高くなるはずです。（毎週、たくさん書く→到達する→評定の上昇につながる）
※書道展に出品する時期に出席すると書道展に出品出来ます。出品すれば必ずなんらかの賞に入ります。

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
外国語	英語コミュニケーションⅡ	4	選択	12	16	2
教科書（発行所）		All Aboard! English Communication Ⅱ（東京書籍）				

1. 学習の到達目標

- ・教材を通して、語彙力を高め、英文に慣れてみよう
- ・教材を通して、内容を理解し、視野を広げてみよう
- ・英語検定などに挑戦し、英語の4技能を高めてみよう

2. 評価基準

【知識・技能】

- ・単語・熟語の意味を調べましょう。
- ・教科書の単語・熟語リスト(教科書 p162～185)も覚えましょう。

【思考・判断・表現】

- ・「並べ替え問題」「英作文問題」「日本語訳問題」により評価します。
- ・教科書の不規則動詞変化表（教科書 p186-187）も参照しましょう。

【外国語の理解】

- ・「内容の正誤問題」「英問英答問題」などにより評価します。

※英問英答問題とは、「次の質問の答えにあたる部分を本文中から探して英語で答えなさい。」という問題です。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	2	2026 5/14～22	①教科書 p10-17 Lesson1 ②教科書 p20-17 Lesson2	①関係代名詞(what) ②比較表現
2期	2	2026 6/18～26	①教科書 p30-39 Lesson3 ②教科書 p42-51 Lesson4	① it の用法 ②間接疑問文
3期	2	2026 8/24～28	①教科書 p56-67 Lesson5 ②教科書 p70-75 Reading1	①to 不定詞を含む表現 ②ストーリー展開の理解
4期	2	2026 10/1～9	①教科書 p78-89 Lesson6 ②教科書 p92-103 Lesson7	①動詞の目的語になる if 節 ②関係副詞
5期	2	2026 11/5～13	①教科書 p106-117 Lesson8 ②教科書 p120-131 Lesson9	①知覚動詞 ②使役動詞
6期	2	2026 12/14～18	①教科書 p134-145 Lesson10 ②教科書 p148-153 Reading2 p160-161 Hit the Target!	①分詞構文 ②文法表現復習

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
外国語	国際理解	2	選択	6	8	3
教科書（発行所）		Free Time Around the World (OXFORD)				

1. 学習の到達目標

- ・「日本と海外の文化的な違い」について学び、考察する
- ・「海外から見た日本」について学び、考察する
- ・授業で学んだ英語表現について理解を深める

※動画を見て考察しますので、視聴するために各ご家庭の wi-fi 環境を整えてください。

2. 評価基準

【知識・技能】単語や英語表現について問います。

【思考・判断・表現】「並べ替え問題」「英問英答（英語でされた質問に対し英語で答える問題のこと）」を問います。
また、「日本と海外の文化的な違い」についてや、「海外から見た日本」についてのみなさん自身の考えを問います。

【外国語の理解】教科書内容本文などを問います。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14~22	教科書 p4-5、24-25	日本とブラジルの違いについて
2期	1	2026 6/18~26	教科書 p6-7、26-27	日本とドバイの違いについて
3期	1	2026 8/24~28	教科書 p8-9、28-29	日本とインドの違いについて
4期	1	2026 10/1~9	教科書 p12-13、32-33	海外から見た日本のマンガ文化について
5期	1	2026 11/5~13	教科書 p14-15、34-35	日本とアメリカの違いについて
6期	1	2026 12/14~18	教科書 p18-19、38-39	日本とオーストラリアの違いについて

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
外国語	中国語会話Ⅰ	2	選択	6	6	2
教科書（発行所）		《最新版》1年生のコミュニケーション中国語（白水社）				

1. 学習の到達目標

- ・「中国語」とは。その定義を、かつ中国語の発音形態を修得する。
- ・中国語の発音を「聴いて、発音し、書ける」。
- ・自分の名前を中国語の発音で聴き取れる。

2. 評価基準

【知識・技能】

- ・中国語の定義を理解し、その発音形態を知ることから、発音そのものを学び取る。
- ・教科書付属のCD,もしくはCDの音声ファイルを大いに活用し、幾度となく発音に触れていく。

【思考・判断・表現】

- ・授業内での小問題へ積極的に取り組むこと。
- ・レポートに取り組む上での指南書も大いに活用すること。

【外国語の理解】

- ・「内容の正誤問題」「並べ替え問題」「日中対訳問題」等に取り組む。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14~22	中国語の定義と発音の成り立ちを理解する。	中国語の定義を理解し、漢字文化圏における日中の両国の相違に触れる。
2期	1	2026 6/18~26	中国語の発音の成り立ちと実際の発音を合致する。（母音①）	単母音の発音と書き方を合致させる。
3期	1	2026 8/20~28	中国語の発音の成り立ちと実際の発音を合致する。（子音）	子音の発音と書き方を合致させる。
4期	1	2026 10/1~9	中国語の発音の成り立ちと実際の発音を合致する。（母音②）	複母音の発音と書き方を合致させる。
5期	1	2026 11/5~13	中国語の発音の成り立ちと実際の発音を合致する。（母音③）	鼻母音の発音と書き方を合致させる。
6期	1	2026 12/10~18	中国語の発音の成り立ちと実際の発音を合致する。（子音+母音+声調）	中国語の発音の成り立ちである「子音+母音+声調」を聴き取り、書けるようにする。

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
外国語	中国語会話Ⅱ	2	選択	6	6	3
教科書（発行所）		《最新版》1年生のコミュニケーション中国語（白水社）				

1. 学習の到達目標

- ・中国語の発音を理解する。
- ・中国語の子音、母音を各々「聞いて発音し、見て書ける」ようにする。
- ・簡単な自己紹介や日常の挨拶ができるようにする。

2. 評価基準

【知識・技能】

- ・中国語の発音の成り立ちを理解した上で、初めて見聞きした発音でもその成り立ちを解きほぐす。
- ・中国語の基本的な文法および単語を習得する。

【思考・判断・表現】

- ・授業内での小問題へ積極的に取り組むこと。
- ・レポートに取り組む上での指南書も大いに活用すること。

【外国語の理解】

- ・「内容の正誤問題」「並べ替え問題」「日中対訳問題」等により評価します。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14～22	中国語の発音の復習	「中国語会話Ⅰ」で学んだ内容を凝縮し、その定着を図るべく復習する
2期	1	2026 6/18～26	中国語の基本文型について① 「主語＋動詞＋目的語」他	動詞「是 shì」の意味、使い方について 副詞「也 yě」の意味、使い方について
3期	1	2026 8/20～28	疑問詞について 中国語の基本文型・総まとめ	疑問詞「～呢？ ～ne？」の意味、使い方について等
4期	1	2026 10/1～9	尊敬語について	文頭に付ける「请～ qǐng～」の意味、使い方等について基本文型より読み解く
5期	1	2026 11/5～13	指示代名詞について	指示代名詞「这 zhè／那 nà／哪 nǎ」の意味、使い分けについて等
6期	1	2026 12/10～18	一年間の総まとめ	一年間の中で学習した内容をまとめた問題に取り組む

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
家庭	家庭基礎	2	必修	4	4	1
教科書（発行所）		家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍）				

1. 学習の到達目標

- ・人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を習得する。
- ・学習した知識や技術を活用し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決する態度を育成する。
- ・家族や社会との共生を目指し、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

2. 評価基準

【知識・技能】レポート点

生活の各分野について、体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考・判断・表現】単位認定試験点

生活に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【主体的に取り組む態度】レポート提出状況・期限

より良い社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14～22	P.12～35 生活設計1、家族・家庭	自立した生活を営むために、生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解する。
2期	1	2026 6/18～26	P.38～75 保育・高齢期	子どもの成長と発達、高齢期の特徴や超高齢社会の現状と課題について理解する。
3期	なし	2026 8/20～28		
4期	1	2026 10/1～10/9	P.78～101 共生・食生活	社会で支え合う仕組みやよりよい食生活とは何かを考え実行する。
5期	1	2026 11/5～13	P.136～155、 P.186～203 衣生活、経済生活	被服の機能や材料、性能について理解する。 また、適切に意思決定を行い生涯を見通した経済生活を送れるよう知識を身につける。
6期	なし	2026 12/10～18		

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
情報	情報Ⅰ	2	必修	4	4	3
教科書（発行所）		新編情報Ⅰ（東京書籍）				

1. 学習の到達目標

- ・効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
- ・様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
- ・情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。

2. 評価基準

情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し，技能を身に付けているとともに，情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。

事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。

情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14～22	教科書 「新編 情報Ⅰ」 pp.8～47 (番号 1～16)	・情報で問題を解決する ・コミュニケーションとデジタル表現を理解する
2期	1	2026 6/18～26	教科書 「新編 情報Ⅰ」 pp.48～ 90 (番号 17～30)	・情報デザインを学ぶ ・コンピュータを活用する（プログラミング）
3期	0	2026 8/20～28		
4期	1	2026 10/1～10/9	教科書 「新編 情報Ⅰ」 pp.91～ 149 (番号 31～60)	・データを活用する（データの分析） ・活動して提案する
5期	1	2026 11/5～13	教科書 「新編 情報Ⅰ」 pp.146～ 187 (番号 59～巻末資料)	・プレゼンテーションの注意点を学ぶ ・各種ソフトウェア・2進法などを理解する
6期	0	2026 12/10～18		

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
農業	農業と環境	4	必修	12	8	1
教科書（発行所）		実教出版株式会社				

1. 学習の到達目標

- ・農業学習とは何か、農業と環境の結びつきを学びます。
- ・人間と植物・動植物のかかわりを学びます。
- ・栽培と飼育の基礎を学びます。

2. 評価基準

【知識・技術】

- ・スクーリングで得た農業知識・技術を活かし、実習にて能動的に行動することができるか。
- ・レポートの総得点

【思考・判断・表現】

- ・スクーリングで得た農業知識・技術を活かし、実習にて場面に応じた適切な判断及び表現を行うことができるか。
- ・単位認定試験得点

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・自らの役割を認識し、仲間と協力して栽培管理などの実習を行うことができるか。
- ・レポート提出状況（提出期限内での提出）

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	2	2026 5/14~22	教科書 P4~P5、P9、P11 P18、P24~27	生物を育てる学習、環境を調べる学習、 学校農業クラブ等を理解する。
2期	2	2026 6/18~26	教科書 P90~92	作物の特性と栽培の仕組みについて、 たねと発芽・たねまき等について理解する。
3期	2	2026 8/20~28	教科書 P46~54	農業を支える自然環境、持続可能な開発目標、 農業・技術と食料生産等について理解する。
4期	2	2026 10/1~9	教科書 P92~96	たねと発芽・たねまき、成長のしくみと管理 等について理解する。
5期	2	2026 11/5~13	教科書 P53~55、P97	近代農業生産技術の問題点と環境への影響に ついて、作物の休眠等について理解する。
6期	2	2026 12/10~18	教科書 P99~100	栄養成長期の管理について、花芽形成のきっ かけ等について理解する。

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技術、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
農業	課題研究2年生 (野菜教科書を使用)	2	必修	6	4	2
教科書（発行所）		実教出版株式会社				

1. 学習の到達目標

- ・プロジェクト学習とは何かを学びます。
- ・野菜を題材として、栽培や技術に関する課題を探究します。
- ・農業に関する知識・技術を習得します。

2. 評価基準

【知識・技術】

- ・スクーリングで得た農業知識・技術を活かし、実習にて能動的に行動することができるか。
- ・レポートの総得点

【思考・判断・表現】

- ・スクーリングで得た農業知識・技術を活かし、実習にて場面に応じた適切な判断及び表現を行うことができるか。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・自らの役割を認識し、仲間と協力して栽培管理などの実習を行うことができるか。
- ・レポート提出状況（提出期限内での提出）

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14～22	P220～224	野菜の流通のしくみについて理解します。
2期	1	2026 6/18～26	P230～231	野菜生産の経営改善について理解します。
3期	1	2026 8/20～28	P221～223	野菜の流通のしくみと野菜の鮮度を保つ技術について理解します。
4期	1	2026 10/1～9	P28～30	野菜の生産、暗発芽及び明発芽種子について理解します。
5期	1	2026 11/5～13	P47、P52	マルチ栽培、トンネル栽培、塩類集積等について理解します。
6期	1	2026 12/10～18	P198～199	タマネギ栽培について理解します。

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技術、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
農業	課題研究3年生 (作物教科書を使用)	2	必修	6	4	3
教科書（発行所）		実教出版株式会社				

1. 学習の到達目標

- ・他の農業教科で得た知識・技術を活用した農業実習を展開します。
- ・作物を題材として、栽培や技術に関する課題を探究します。
- ・農業資材及び機具の取扱を学びます。

2. 評価基準

【知識・技術】

- ・スクーリングで得た農業知識・技術を活かし、実習にて能動的に行動することができるか。
- ・レポートの総得点

【思考・判断・表現】

- ・スクーリングで得た農業知識・技術を活かし、実習にて場面に応じた適切な判断及び表現を行うことができるか。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・自らの役割を認識し、仲間と協力して栽培管理などの実習を行うことができるか。
- ・レポート提出状況（提出期限内での提出）

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14~22	P262~265	流通のしくみ、米の流通等について理解します。
2期	1	2026 6/18~26	P236~237	油料作物について理解します。
3	1	2026 8/20~28	P10~11	作物をとりまくフードシステムについて理解します。
4期	1	2026 10/1~9	P44~45	花成形成に必要な条件について理解します。
5期	1	2026 11/5~13	P59~61	生育と土壌について理解します。
6期	1	2026 12/10~18	P211~213	サトイモについて理解します。

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技術、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
農業	総合実習2年生 (野菜教科書を使用)	2	必修	6	4	2
教科書（発行所）		実教出版株式会社				

1. 学習の到達目標

- ・他の農業教科で得た知識・技術を活用した農業実習を展開します。
- ・野菜を題材として、栽培や技術に関する課題を探究します。
- ・農業資材及び機具の取扱を学びます。

2. 評価基準

【知識・技術】

- ・スクーリングで得た農業知識・技術を活かし、実習にて能動的に行動することができるか。
- ・レポートの総得点

【思考・判断・表現】

- ・スクーリングで得た農業知識・技術を活かし、実習にて場面に応じた適切な判断及び表現を行うことができるか。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・自らの役割を認識し、仲間と協力して栽培管理などの実習を行うことができるか。
- ・レポート提出状況（提出期限内での提出）

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14～22	P224～227	野菜の鮮度を保つ技術、加工・業務用野菜の現状等について理解します。
2期	1	2026 6/18～26	P234～236	6次産業等について理解します。
3期	1	2026 8/20～28	P15～17	野菜の消費、消費の多様化等について理解します。
4期	1	2026 10/1～9	P31、P36	茎と葉の成長等について理解します。
5期	1	2026 11/5～13	P69～70	つぎ木育苗技術、種まきと発芽期の管理等について理解します。
6期	1	2026 12/10～18	P206～209	ダイコン等の栽培について理解します。

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技術、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
農業	総合実習3年生 (作物教科書を使用)	2	必修	6	4	3
教科書（発行所）		実教出版株式会社				

1. 学習の到達目標

- ・他の農業教科で得た知識・技術を活用した農業実習を展開します。
- ・作物を題材として、栽培や技術に関する課題を探究します。
- ・農業資材及び機具の取扱を学びます。

2. 評価基準

【知識・技術】

- ・スクーリングで得た農業知識・技術を活かし、実習にて能動的に行動することができるか。
- ・レポートの総得点

【思考・判断・表現】

- ・スクーリングで得た農業知識・技術を活かし、実習にて場面に応じた適切な判断及び表現を行うことができるか。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・自らの役割を認識し、仲間と協力して栽培管理などの実習を行うことができるか。
- ・レポート提出状況（提出期限内での提出）

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14~22	P268~269	経営とその改善について理解します。
2期	1	2026 6/18~26	P240	ヒマワリについて理解します。
3期	1	2026 8/20~28	P178	豆類の栽培特性について理解します。
4期	1	2026 10/1~9	P45、P50	開花と受粉、作型等について理解します。
5期	1	2026 11/5~13	P61~62	粘土と土壌有機物等について理解します。
6期	1	2026 12/10~18	P206~209	サツマイモについて理解します。

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技術、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
農業	作物	2	必修	6	4	農食3
教科書（発行所）		作物（実教出版）				

1. 学習の到達目標

- ・作物生産と消費の動向を学びます。
- ・作物の特徴と栽培技術を学びます。
- ・作物の流通の経営の改善を学びます。

2. 評価基準

【知識・技術】

- ・スクーリングで得た農業知識・技術を活かし、実習にて能動的に行動することができるか。
- ・レポートの総得点

【思考・判断・表現】

- ・スクーリングで得た農業知識・技術を活かし、実習にて場面に応じた適切な判断及び表現を行うことができるか。
- ・単位認定試験得点

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・自らの役割を認識し、仲間と協力して栽培管理などの実習を行うことができるか。
- ・レポート提出状況（提出期限内での提出）

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14～22	P.6～27	作物と作物栽培の動向について理解します。
2期	1	2026 6/18～26	P.26～49	作物の種類と特徴、生育や生理を理解します。
3期	1	2026 8/20～28	P.50～68	栽培環境と生育の調節について理解します。
4期	1	2026 10/1～9	P.70～96	イネの栽培的特性について理解します。
5期	1	2026 11/5～13	P.97～146	イネの栽培管理について理解します。
6期	1	2026 12/10～18	P.148～275	その他の作物の特性と、作物の流通と経営の改善について理解します。

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
農業	野菜	2	必修	6	4	2
教科書（発行所）		実教出版株式会社				

1. 学習の到達目標

- ・野菜生産の役割と動向を学びます。
- ・野菜の生産特性と栽培環境の調節技術を学びます。
- ・果実、葉や花茎、根を利用する野菜の栽培方法を学びます。

2. 評価基準

【知識・技術】

- ・スクーリングで得た農業知識・技術を活かし、実習にて能動的に行動することができるか。
- ・レポートの総得点

【思考・判断・表現】

- ・スクーリングで得た農業知識・技術を活かし、実習にて場面に応じた適切な判断及び表現を行うことができるか。
- ・単位認定試験得点

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・自らの役割を認識し、仲間と協力して栽培管理などの実習を行うことができるか。
- ・レポート提出状況（提出期限内での提出）

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14～22	P12～14	野菜の種類と利用について理解します。
2期	1	2026 6/18～26	P13、P23	野菜の分類、野菜の安全について理解します。
3期	1	2026 8/20～28	P80～81	トマトの栽培について理解します。
4期	1	2026 10/1～9	P38～40	果菜類の花芽分化と果実の発育について理解します。
5期	1	2026 11/5～13	P81～82	トマトの栽培特性について理解します。
6期	1	2026 12/10～18	P124～125、P129	スイカの栽培について理解します。

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技術、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
農業	草花	2	必修	6	4	2
教科書（発行所）		実教出版株式会社				

1. 学習の到達目標

- ・草花生産と消費の動向を学びます。
- ・草花の特徴と栽培技術を学びます。
- ・切り花及び鉢花生産方法を学びます。

2. 評価基準

【知識・技術】

- ・スクーリングで得た農業知識・技術を活かし、実習にて能動的に行動することができるか。
- ・レポートの総得点

【思考・判断・表現】

- ・スクーリングで得た農業知識・技術を活かし、実習にて場面に応じた適切な判断及び表現を行うことができるか。
- ・単位認定試験得点

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・自らの役割を認識し、仲間と協力して栽培管理などの実習を行うことができるか。
- ・レポート提出状況（提出期限内での提出）

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14～22	P15、P17	草花の種類、草花の生産形態について理解します。
2期	1	2026 6/18～26	P50～52、P58	草花の生育と環境、日長と花芽形成（花成）について理解します。
3期	1	2026 8/20～28	P172	シクラメンの栽培について理解します。
4期	1	2026 10/1～9	P61	生育開花調節と作型について理解します。
5期	1	2026 11/5～13	P67～68	一代雑種品種及び種子繁殖について理解します。
6期	1	2026 12/10～18	P181～182	ポインセチアの栽培について理解します。

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技術、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
農業	畜産	1	必修	6	14	3
教科書（発行所）						

1. 学習の到達目標

- ・日本の畜産についての歴史を学び、特徴を理解する
- ・様々な家畜の形態や習性・生理・生態を理解する
- ・畜産の様々な課題について自分自身で考え、未来の畜産について考える力を養う

2. 評価基準

＜知識・技能＞

教科書の畜産用語を理解し、家畜に関する基礎知識を身につける。

家畜の飼育と環境を結びつけて理解する

＜思考・判断・表現＞

我が国の畜産の課題を考え、さまざまな観点に立って、畜産経営を改善する方法を理解する

日本の畜産物の需給の動向や特徴を、世界の様子と比較しながら理解する

＜レポート＞

レポートの提出

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14～22	教科書「畜産」 P12～P56	日本の畜産の特徴 畜産の役割と課題 日本における畜産物の需給の動向等
2期	1	2026 6/18～26	教科書「畜産」 P58～P70	家畜の栄養と栄養素 飼料の特性と給与
3期	1	2026 8/20～28	教科書「畜産」 P72～P111	養鶏について
4期	1	2026 10/1～9	教科書「畜産」 P112～P155	養豚について
5期	1	2026 11/5～13	教科書「畜産」 P156～P245	乳牛・肉牛について
6期	1	2026 12/10～18	レポート1期～5期までの学習 内容・範囲	レポート1期～5期までの学習目標

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
農業	食品製造	2・2・2	必修	6・6・6	4・4・4	農食全
教科書（発行所）						

1. 学習の到達目標

- ・食品製造の目的を理解し、食生活の変化にともなう加工食品へのニーズを理解する。
- ・食品と食品衛生について理解する。
- ・食品製造の実習を通し、モノづくりの楽しさを理解する。

2. 評価基準

【知識・技能】

- ・私たちの生活に必要な食品について理解し、食品製造の目的や食品衛生について理解しましょう。
- ・食品製造実習を通し、自らも実践できるようになりましょう。

【思考・判断・表現】

- ・食品製造に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【主体的に取り組む態度】

- ・食品製造実習を通じて、積極的に作業に参加し、次の行動を考えて行動できるかなどにより評価します。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14~22	教科書 6-12、18-23	食品製造の目的を知る。 食品の分類を知る。
2期	1	2026 6/18~26	教科書 24-50	身近な食品化学を理解する。 食品の変質とその原因について知る。
3期	1	2026 8/20~28	教科書 52-67	食品と衛生について理解する。
4期	1	2026 10/1~10/9	教科書 68-82	食品添加物の種類と用途を知る。 食品の包装の目的を理解し、その種類を知る。
5期	1	2026 11/5~13	教科書 84-101	穀類の種類とその特徴を知る。 パンの製造方法を知る
6期	1	2026 12/10~18	教科書 102-118	菓子の製造方法を知る

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
農業	食品製造	2・2・2	必履修	6・6・6	4・4・4	農食全
教科書（発行所）						

1. 学習の到達目標

- ・食品製造の目的を理解し、食生活の変化にともなう加工食品へのニーズを理解する。
- ・食品と食品衛生について理解する。
- ・食品製造の実習を通し、モノづくりの楽しさを理解する。

2. 評価基準

【知識・技能】

- ・私たちの生活に必要な食品について理解し、食品製造の目的や食品衛生について理解しましょう。
- ・食品製造実習を通し、自らも実践できるようになりましょう。

【思考・判断・表現】

- ・食品製造に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【主体的に取り組む態度】

- ・食品製造実習を通じて、積極的に作業に参加し、次の行動を考えて行動できるかなどにより評価します。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14~22	教科書 6-12、18-23	食品製造の目的を知る。 食品の分類を知る。
2期	1	2026 6/18~26	教科書 24-50	身近な食品化学を理解する。 食品の変質とその原因について知る。
3期	1	2026 8/20~28	教科書 52-67	食品と衛生について理解する。
4期	1	2026 10/1~10/9	教科書 68-82	食品添加物の種類と用途を知る。 食品の包装の目的を理解し、その種類を知る。
5期	1	2026 11/5~13	教科書 84-101	穀類の種類とその特徴を知る。 パンの製造方法を知る
6期	1	2026 12/10~18	教科書 102-118	菓子の製造方法を知る

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
農業	食品製造	2・2・2	必修	6・6・6	4・4・4	農食全
教科書（発行所）						

1. 学習の到達目標

- ・食品製造の目的を理解し、食生活の変化にともなう加工食品へのニーズを理解する。
- ・食品と食品衛生について理解する。
- ・食品製造の実習を通し、モノづくりの楽しさを理解する。

2. 評価基準

【知識・技能】

- ・私たちの生活に必要不可欠な食品について理解し、食品製造の目的や食品衛生について理解しましょう。
- ・食品製造実習を通し、自らも実践できるようになりましょう。

【思考・判断・表現】

- ・食品製造に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【主体的に取り組む態度】

- ・食品製造実習を通じて、積極的に作業に参加し、次の行動を考えて行動できるかなどにより評価します。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14~22	教科書 6-12、18-23	食品製造の目的を知る。 食品の分類を知る。
2期	1	2026 6/18~26	教科書 24-50	身近な食品化学を理解する。 食品の変質とその原因について知る。
3期	1	2026 8/20~28	教科書 52-67	食品と衛生について理解する。
4期	1	2026 10/1~10/9	教科書 68-82	食品添加物の種類と用途を知る。 食品の包装の目的を理解し、その種類を知る。
5期	1	2026 11/5~13	教科書 84-101	穀類の種類とその特徴を知る。 パンの製造方法を知る
6期	1	2026 12/10~18	教科書 102-118	菓子の製造方法を知る

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
農業	アグリトライ I	3	必修	6	6	普通1
教科書（発行所）		野菜（実教出版）				

1. 学習の到達目標

- ・農業と環境等に関する基礎的な知識を理解するとともに、農業の意義や役割を理解する。
- ・様々な農業の課題に目を向け、農業が与える社会への影響について関心を持ち、色々な視点から物事を捉える態度を身につける。
- ・グループ活動を通して、グループの一員であることを自覚し、積極的に話ができるコミュニケーション能力を身につける。
- ・自分のできることを見つけ、できる範囲で実行することができる力を身につける。

2. 評価基準

- ・説明を良く聞き、メモや写真を残しレポートにまとめて提出期限を守る。
- ・実習内容の注意点を理解し、安全第一に実習に一生懸命で積極的に取り組む姿勢。
- ・グループ内のメンバーと協力し、興味関心を持って取り組む姿勢。
- ・わからないことはどんどん質問し、観察力、集中力、コミュニケーション能力を養う姿勢

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14~22	オリエンテーション（施設見学） 野菜・花・稲（播種など）	農業と環境等に関する基礎的な知識を理解するとともに、農業の意義や役割を理解する。
2期	1	2026 6/18~26	花壇・花・野菜・作物・稲・ 牛舎のいずれか（実習）	農業と環境等に関する基礎的な知識を理解するとともに、農業の意義や役割を理解する。
3期	1	2026 8/20~28	花壇・花・野菜・作物・稲・ 牛舎のいずれか（実習）	農業と環境等に関する基礎的な知識を理解するとともに、農業の意義や役割を理解する。
4期	1	2026 10/1~9	花壇・花・野菜・作物・稲・ 牛舎のいずれか（実習）	農業と環境等に関する基礎的な知識を理解するとともに、農業の意義や役割を理解する。
5期	1	2026 11/5~13	花壇・花・野菜・作物・稲・ 牛舎のいずれか（実習）	農業と環境等に関する基礎的な知識を理解するとともに、農業の意義や役割を理解する。
6期	1	2026 12/10~18	花・野菜・作物・牛舎 リース製作のいずれか（実習）	農業と環境等に関する基礎的な知識を理解するとともに、農業の意義や役割を理解する。

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
農業	アグリトライⅡ	3	選択	6	6	普通2
教科書（発行所）		野菜（実教出版）				

1. 学習の到達目標

- ・農業と環境等に関する基礎的な知識を理解するとともに、農業の意義や役割を理解する。
- ・様々な農業の課題に目を向け、農業が与える社会への影響について関心を持ち、色々な視点から物事を捉える態度を身につける。
- ・グループ活動を通して、グループの一員であることを自覚し、積極的に話ができるコミュニケーション能力を身につける。
- ・自分のできることを見つけ、できる範囲で実行することができる力を身につける。

2. 評価基準

- ・説明を良く聞き、メモや写真を残しレポートにまとめて提出期限を守る。
- ・実習内容の注意点を理解し、安全第一に実習に一生懸命で積極的に取り組む姿勢。
- ・グループ内のメンバーと協力し、興味関心を持って取り組む姿勢。
- ・わからないことはどんどん質問し、観察力、集中力、コミュニケーション能力を養う姿勢

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14～22	オリエンテーション（施設見学） 野菜・花・稲（播種など）	農業と環境等に関する基礎的な知識を理解するとともに、農業の意義や役割を理解する。
2期	1	2026 6/18～26	花壇・花・野菜・作物・稲・ 牛舎のいずれか（実習）	農業と環境等に関する基礎的な知識を理解するとともに、農業の意義や役割を理解する。
3期	1	2026 8/20～28	花壇・花・野菜・作物・稲・ 牛舎のいずれか（実習）	農業と環境等に関する基礎的な知識を理解するとともに、農業の意義や役割を理解する。
4期	1	2026 10/1～9	花壇・花・野菜・作物・稲・ 牛舎のいずれか（実習）	農業と環境等に関する基礎的な知識を理解するとともに、農業の意義や役割を理解する。
5期	1	2026 11/5～13	花壇・花・野菜・作物・稲・ 牛舎のいずれか（実習）	農業と環境等に関する基礎的な知識を理解するとともに、農業の意義や役割を理解する。
6期	1	2026 12/10～18	花・野菜・作物・牛舎 リース製作のいずれか（実習）	農業と環境等に関する基礎的な知識を理解するとともに、農業の意義や役割を理解する。

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
農業	アグリトライⅢ	3	選択	6	6	普通3
教科書（発行所）		野菜（実教出版）				

1. 学習の到達目標

- ・農業と環境等に関する基礎的な知識を理解するとともに、農業の意義や役割を理解する。
- ・様々な農業の課題に目を向け、農業が与える社会への影響について関心を持ち、色々な視点から物事を捉える態度を身につける。
- ・グループ活動を通して、グループの一員であることを自覚し、積極的に話ができるコミュニケーション能力を身につける。
- ・自分のできることを見つけ、できる範囲で実行することができる力を身につける。

2. 評価基準

- ・説明を良く聞き、メモや写真を残しレポートにまとめて提出期限を守る。
- ・実習内容の注意点を理解し、安全第一に実習に一生懸命で積極的に取り組む姿勢。
- ・グループ内のメンバーと協力し、興味関心を持って取り組む姿勢。
- ・わからないことはどんどん質問し、観察力、集中力、コミュニケーション能力を養う姿勢

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14~22	オリエンテーション（施設見学） 野菜・花・稲（播種など）	農業と環境等に関する基礎的な知識を理解するとともに、農業の意義や役割を理解する。
2期	1	2026 6/18~26	花壇・花・野菜・作物・稲・ 牛舎のいずれか（実習）	農業と環境等に関する基礎的な知識を理解するとともに、農業の意義や役割を理解する。
3期	1	2026 8/20~28	花壇・花・野菜・作物・稲・ 牛舎のいずれか（実習）	農業と環境等に関する基礎的な知識を理解するとともに、農業の意義や役割を理解する。
4期	1	2026 10/1~9	花壇・花・野菜・作物・稲・ 牛舎のいずれか（実習）	農業と環境等に関する基礎的な知識を理解するとともに、農業の意義や役割を理解する。
5期	1	2026 11/5~13	花壇・花・野菜・作物・稲・ 牛舎のいずれか（実習）	農業と環境等に関する基礎的な知識を理解するとともに、農業の意義や役割を理解する。
6期	1	2026 12/10~18	花・野菜・作物・牛舎 リース製作のいずれか（実習）	農業と環境等に関する基礎的な知識を理解するとともに、農業の意義や役割を理解する。

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
学校 設定	食の安心安全学	1	必修	3	2	3
教科書（発行所）		なし				

1. 学習の到達目標

- ・ 安心で安全な食生活を営むために食品の選び方、保存や加工方法、食中毒や食品添加物、安全を確保するための仕組みに関する知識を習得する。
- ・ 食生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。
- ・

2. 評価基準

【知識・技能】レポート点

食の安心と安全について、多方面からの知識について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考・判断・表現】レポート点

自分自身の食生活や食品の安心安全に関する問題や課題について自ら調べたり、どう解決していくべきか考える力とそれを文章等で表現する力を身に付けている。

【主体的に取り組む態度】レポート提出状況・期限

問題や課題について意欲的に取り組み安心安全を意識する態度を身に付けている。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14~22	食の安心・安全とは 食品表示について	「安心」と「安全」の違い、食品に記載されている表示について理解する。
2期	なし	2026 6/18~26		
3期	1	2026 8/20~28	食中毒について	食中毒の種類や原因、予防法などについて理解する。
4期	なし	2026 10/1~10/9		
5期	1	2026 11/5~13	食をめぐる問題について (食品ロス・フードバンク)	食料自給率低下の要因や食品ロス問題についての現状と課題について理解する。
6期	なし	2026 12/10~18		

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
学校 設定	食品加工Ⅰ	2	必修	4	4	普通1
教科書（発行所）						

1. 学習の到達目標

- ・包丁の使い方や計量の仕方など、基本的な調理器具の使い方を習得する。
- ・初歩的な調理の技術を身につける。
- ・安全・衛生面に注意しながら、仲間と協力して物事を進めていく力を身につける。

2. 評価基準

【知識・技能】レポート点

調理方法や手順について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考・判断・表現】レポート点

調理するうえで下処理の必要性や栄養素の働き、食品のルーツなどについて自ら調べ、理解したことを自分なりに文章等で表現する力を身に付けている。

【主体的に取り組む態度】レポート提出状況・期限

課題について意欲的に取り組み、実践する態度を身に付けている。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14~22	調理の基礎① パンについて	パン作りに挑戦する。
2期	1	2026 6/18~26	調理の基礎② 和食について	和食料理に挑戦する。
3期	なし	2026 8/20~28		
4期	1	2026 10/1~10/9	調理の基礎③ 洋食について	洋食料理に挑戦する。
5期	1	2026 11/5~13	調理の基礎④ 中華について	中華料理に挑戦する。
6期	なし	2026 12/10~18		

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
学校 設定	食品加工Ⅱ	2	選択	4	4	普通2
教科書（発行所）						

1. 学習の到達目標

- ・包丁の使い方や計量の仕方など、基本的な調理器具の使い方を習得する。
- ・初歩的な調理の技術を身につける。
- ・安全・衛生面に注意しながら、仲間と協力して物事を進めていく力を身につける。

2. 評価基準

【知識・技能】レポート点

調理方法や手順について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考・判断・表現】レポート点

調理するうえで下処理の必要性や栄養素の働き、食品のルーツなどについて自ら調べ、理解したことを自分なりに文章等で表現する力を身に付けている。

【主体的に取り組む態度】レポート提出状況・期限

課題について意欲的に取り組み、実践する態度を身に付けている。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14~22	調理の基礎① パンについて	パン作りに挑戦する。
2期	1	2026 6/18~26	調理の基礎② 和食について	和食料理に挑戦する。
3期	なし	2026 8/20~28		
4期	1	2026 10/1~10/9	調理の基礎③ 洋食について	洋食料理に挑戦する。
5期	1	2026 11/5~13	調理の基礎④ 中華について	中華料理に挑戦する。
6期	なし	2026 12/10~18		

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
学校 設定	食品加工Ⅲ	2	選択	4	4	普通3
教科書（発行所）						

1. 学習の到達目標

- ・包丁の使い方や計量の仕方など、基本的な調理器具の使い方を習得する。
- ・初歩的な調理の技術を身につける。
- ・安全・衛生面に注意しながら、仲間と協力して物事を進めていく力を身につける。

2. 評価基準

【知識・技能】レポート点

調理方法や手順について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考・判断・表現】レポート点

調理するうえで下処理の必要性や栄養素の働き、食品のルーツなどについて自ら調べ、理解したことを自分なりに文章等で表現する力を身に付けている。

【主体的に取り組む態度】レポート提出状況・期限

課題について意欲的に取り組み、実践する態度を身に付けている。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	1	2026 5/14~22	調理の基礎① パンについて	パン作りに挑戦する。
2期	1	2026 6/18~26	調理の基礎② 和食について	和食料理に挑戦する。
3期	なし	2026 8/20~28		
4期	1	2026 10/1~10/9	調理の基礎③ 洋食について	洋食料理に挑戦する。
5期	1	2026 11/5~13	調理の基礎④ 中華について	中華料理に挑戦する。
6期	なし	2026 12/10~18		

4. 評価方法

レポート・スクーリング・試験を、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に取り組む態度、の3観点により総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
総合	総合的な探究の時間	1	必修	2	2	全学年
教科書（発行所）						

1. 学習の到達目標

- ・礼拝を通して本校の建学の精神である三愛主義「神を愛し、人を愛し、土を愛す」を学び、実践に結び付ける
- ・キリスト教とはどのような宗教なのかを、聖書を通して知る。
- ・聖書（旧約聖書、新約聖書）や讃美歌に触れ、キリスト教を体験する。

2. 評価基準

レポートの記述の分量と内容、期限内の提出の有無等により、総合的に判断して評価します。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	なし	2026 5/14~22	（礼拝参加）	（生き方について考える）
2期	1	2026 6/18~26	イエス＝キリストについて （礼拝参加）	イエス＝キリストについて学び、キリスト教について考える。
3期	なし	2026 8/20~28	（礼拝参加）	（キリスト教・聖書と自分について考える）
4期	1	2026 10/1~9	隣人愛について （礼拝参加）	聖書の言う「隣人愛」について学び、自分に何ができるか、何をするかを考える。
5期	なし	2026 11/5~13	（礼拝参加）	（自分の生き方の中で何をどう実践するか考える）
6期	なし	2026 12/10~18	（礼拝参加）	（自分の生き方を考えながら行動する）

4. 評価方法

レポートの分量と内容、期限内の提出の有無等により、総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
総合	総合的な探究の時間	1	必修	2	2	全学年
教科書（発行所）						

1. 学習の到達目標

- ・礼拝を通して本校の建学の精神である三愛主義「神を愛し、人を愛し、土を愛す」を学び、実践に結び付ける
- ・キリスト教とはどのような宗教なのかを、聖書を通して知る。
- ・聖書（旧約聖書、新約聖書）や讃美歌に触れ、キリスト教を体験する。

2. 評価基準

レポートの記述の分量と内容、期限内の提出の有無等により、総合的に判断して評価します。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	なし	2026 5/14~22	（礼拝参加）	（生き方について考える）
2期	1	2026 6/18~26	イエス＝キリストについて （礼拝参加）	イエス＝キリストについて学び、キリスト教について考える。
3期	なし	2026 8/20~28	（礼拝参加）	（キリスト教・聖書と自分について考える）
4期	1	2026 10/1~9	隣人愛について （礼拝参加）	聖書の言う「隣人愛」について学び、自分に何ができるか、何をするかを考える。
5期	なし	2026 11/5~13	（礼拝参加）	（自分の生き方の中で何をどう実践するか考える）
6期	なし	2026 12/10~18	（礼拝参加）	（自分の生き方を考えながら行動する）

4. 評価方法

レポートの分量と内容、期限内の提出の有無等により、総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
総合	総合的な探究の時間	1	必修	2	2	全学年
教科書（発行所）						

1. 学習の到達目標

- ・礼拝を通して本校の建学の精神である三愛主義「神を愛し、人を愛し、土を愛す」を学び、実践に結び付ける
- ・キリスト教とはどのような宗教なのかを、聖書を通して知る。
- ・聖書（旧約聖書、新約聖書）や讃美歌に触れ、キリスト教を体験する。

2. 評価基準

レポートの記述の分量と内容、期限内の提出の有無等により、総合的に判断して評価します。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	なし	2026 5/14~22	（礼拝参加）	（生き方について考える）
2期	1	2026 6/18~26	イエス＝キリストについて （礼拝参加）	イエス＝キリストについて学び、キリスト教について考える。
3期	なし	2026 8/20~28	（礼拝参加）	（キリスト教・聖書と自分について考える）
4期	1	2026 10/1~9	隣人愛について （礼拝参加）	聖書の言う「隣人愛」について学び、自分に何ができるか、何をするかを考える。
5期	なし	2026 11/5~13	（礼拝参加）	（自分の生き方の中で何をどう実践するか考える）
6期	なし	2026 12/10~18	（礼拝参加）	（自分の生き方を考えながら行動する）

4. 評価方法

レポートの分量と内容、期限内の提出の有無等により、総合的に判断して評価します。

教科名	科目名（校内）	単位数	履修形態	レポート規定数	スクーリング回数	標準履修学年
総合	総合的な探究の時間	1	必修	2	2	全学年
教科書（発行所）						

1. 学習の到達目標

- ・礼拝を通して本校の建学の精神である三愛主義「神を愛し、人を愛し、土を愛す」を学び、実践に結び付ける
- ・キリスト教とはどのような宗教なのかを、聖書を通して知る。
- ・聖書（旧約聖書、新約聖書）や讃美歌に触れ、キリスト教を体験する。

2. 評価基準

レポートの記述の分量と内容、期限内の提出の有無等により、総合的に判断して評価します。

3. 年間計画

レポート	通数	提出期間	学習内容・範囲など	学習目標など
1期	なし	2026 5/14~22	（礼拝参加）	（生き方について考える）
2期	1	2026 6/18~26	イエス＝キリストについて （礼拝参加）	イエス＝キリストについて学び、キリスト教について考える。
3期	なし	2026 8/20~28	（礼拝参加）	（キリスト教・聖書と自分について考える）
4期	1	2026 10/1~9	隣人愛について （礼拝参加）	聖書の言う「隣人愛」について学び、自分に何ができるか、何をするかを考える。
5期	なし	2026 11/5~13	（礼拝参加）	（自分の生き方の中で何をどう実践するか考える）
6期	なし	2026 12/10~18	（礼拝参加）	（自分の生き方を考えながら行動する）

4. 評価方法

レポートの分量と内容、期限内の提出の有無等により、総合的に判断して評価します。